

なし管理情報 No.5

令和8年6月5日
下野方梨組合
魚津市農業協同組合
富山県新川農林振興センター



1 「幸水」の生育状況

- ・着果量：平年並～やや多い
- ・肥大：満開45日後(5/26)の横径は、29.6mmと前年並で、平年に比べ大きい。
(前年比99%、平年比108%)。※R8年度から調査園地を1園地変更

2 病虫害防除

<発生状況・トラップへの誘殺状況>

- ・黒星病：春型病斑の発生量は、前年よりやや多く、り病葉・り病果が散見される。
(次回は6月中旬に調査を行う。)
- ・木材腐朽菌：老木を中心に萎縮症状がやや多い。
- ・ニセナシサビダニ：平年に比べ少ないが、一部園地で少発生。
- ・ハダニ類：未確認。
- ・ナシヒメシンクイ：フェロモントラップへの誘殺は、平年よりやや多い。
- ・チャバネアオカメムシ：フェロモントラップへの誘殺は、前年、平年より多い。日中の園地で成虫や卵が確認されている。

<ポイント>

- ・黒星病：「幸水」は6月下旬頃から果実が感染しやすい肥大最盛期を迎える。収穫期の果実病斑を減らすため、梅雨明けまで、春型病斑を摘み取り、園地外で処分するとともに、多発時は、13回目のオーソサイド水和剤80をミギワ20フロアブル(4,000倍、収穫前日まで、3回以内)に変更する。
- ・木材腐朽菌：樹にきのこ(子実体)の発生を確認した場合は、早めにきのこを除去して園地外で処分し、きのこからの胞子の飛散を防ぐとともに、腐朽部分は、削り取り、保護殺菌剤を塗布する。
- ・カメムシ類：日中の園地でカメムシ類を複数個体確認した場合は、12回目のノーモルト乳剤をアクタラ顆粒水溶剤(2,000倍、収穫前日まで、3回以内)に変更する。
- ・ハダニ類：園地内をよく観察し、発生を確認次第、マイトコーネフロアブル(1,000倍、収穫前日まで、1回以内)を特別散布する。

- ・使用前に農薬ラベルの登録内容をよく確認して使用する。
- ・農薬散布時は、近隣に告知するとともに、周辺の他の作物に薬剤が飛散しないように十分注意する。
- ・カメムシ等複数の害虫が発生した場合の散布薬剤の選定については、振興センターへ相談する。
- ・散布予定日に降雨が予想される場合は、散布間隔が開きすぎないように前倒しで実施する。
- ・散布ムラが生じないように丁寧に散布し、薬剤がかかりにくい園地周辺は補正散布を徹底する。
- ・脚立での作業や、農業機械での作業時等の安全対策を徹底し、農作業事故発生防止に十分努める。
- ・こまめに水分を補給するなど、熱中症に留意する。



熱中症対策HP

| 回数 | 散布時期の目安 | 散布薬剤と希釈倍率 | 10a当たり散布量 | 対象病害虫 | 実施日 (自己記入) |
|------------------------------------|------------------|--|-----------|---|---------------|
| 10 | 6/19 ~21 | フロンサイドSC 2,000倍 ダニサラバフロアブル 2,000倍 | 350ℓ | 黒星病、黒斑病、輪紋病 ハダニ類 | |
| 11 | 6/29 ~ 7/1 | アミスター10フロアブル 1,000倍 スミチオン水和剤40 1,000倍 ※収穫21日前まで | 350ℓ | 黒星病、黒斑病、輪紋病 うどんこ病、炭そ病 ハマシ類、シクイシ類、カメシ類 | |
| 12 ※ | 7/9 ~11 | ベルコート水和剤 1,500倍 ★ ノーマルト乳剤 2,000倍 (カメムシ類多発時) アクタラ顆粒水溶剤 2,000倍 | 350ℓ | 黒星病、黒斑病、輪紋病 シクイシ類、ナシホガ、ナシヒガ カメシ類、シクイシ類 | |
| ★ノーマルト乳剤とアクタラ顆粒水溶剤は、どちらかの剤を散布 | | | | | |
| 13 | 7/19 ~21 | ★ オーソサイド水和剤80 1,000倍 ※収穫3日前まで (黒星病多発時) ミギワ20フロアブル 4,000倍 ※収穫前日まで スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 ※収穫前日まで | 350ℓ | 黒星病、赤星病、輪紋病 黒星病 シクイシ類、カメシ類、カメシ類、 アブラムシ類、ヨカイガラムシ類 | |
| ★オーソサイド水和剤80とミギワ20フロアブルは、どちらかの剤を散布 | | | | | |

※防除時期の目安は、9回目防除を6/9~11とした場合

3. 今後の管理

<ポイント>

- ・ **着果管理**：着果量が多く仕上げ摘果が遅れている園では、なるべく早めに仕上げ摘果を実施する（仕上げ摘果時の着果量の目安は管理情報NO.4参照）。
- ・ **新梢管理**：予備枝や陰芽から発生した新梢は、7月（新梢伸長停止後）に誘引し、花芽の着生を図る。また、新梢の伸長が旺盛な樹は、芽かきや夏季剪定を行い、受光環境、薬剤到達性を良好に保つ。
- ・ **土壌水管理（排水）**：排水不良による黄変落葉や裂果を防ぐため、明きよ等の排水路を点検し、排水口につながるように手直しをする。
- ・ **土壌水管理（かん水）**：今後高温が予想され、無降雨日が5日以上続いた場合は、積極的にかん水を実施する。特に高温・乾燥が続くような場合は、根域まで浸透するよう十分に行う。また、苗木は、乾燥ストレスに弱いため、マルチを設置し、乾燥を防ぐ。
- ・ **収穫準備**：今年の「幸水」の収穫開始は、8月9日頃と予想され、前年、平年より遅いと思込まれる。今後、寡日照・多雨となった場合は、果肉が先熟し、収穫期が早まる可能性もある。計画的に収穫、販売の準備を進める。